

2026年1月16日

各 位

会 社 名	株式会社ネクスグループ
代 表 者 名	代表取締役社長 石原 直樹 (スタンダード市場・コード 6634)
問 合 せ 先	
役 職 ・ 氏 名	取締役管理本部長 齊藤 洋介
電 話	03-5766-9870

特別利益（連結）、特別損失（単体、連結）の計上及び2025年11月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年11月期第4四半期連結会計期間にて、単体決算において、営業外費用及び特別損失を計上し、連結決算において、特別利益及び特別損失を計上いたしました。

また、上記に伴い、2025年1月17日に開示しました2025年11月期（2024年12月1日～2025年11月30日）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益の内容（連結）

当社は、2025年7月8日付「連結子会社の異動（株式交換）に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、当社連結子会社である株式会社ネクスを、株式交換により株式会社C A I C A D I G I T A Lに譲渡いたしました。本件株式交換に伴い、連結決算上で持分変動利益790百万円を特別利益に計上いたしました。

2. 特別損失の内容（単体、連結）

（1）当社は、当社の連結子会社である株式会社実業之日本デジタル（以下「実業デジタル」といいます。）、株式会社ネクスデジタルグループ（以下「ネクスデジタルグループ」といいます。）及び株式会社Z a i f（以下「Zaif」といいます。）の株式の評価を行った結果、期末時点における実質価額が簿価を下回っている状況等を踏まえ、子会社株式評価損1,700百万円を単体決算上で特別損失に計上いたしました。

（2）当社は、実業デジタルについて、当初計画されていた事業計画を下回って業績が推移したことから、のれんの回収可能額を検討した結果、連結決算上でのれんの減損損失275百万円を特別損失に計上いたしました。

当社は、Zaifについて、当初計画されていた事業計画を下回って業績が推移したことから、連結決算上で減損損失69百万円を特別損失に計上いたしました。

Zaifにおいては、売上原価及び販売費及び一般管理費の見直しを進めた結果、販売費及び一般管理費は概ね予算水準を達成し、コスト削減は一定程度進捗いたしました。一方で、ステーキング報酬等を中心とする売上高は当初計画を大幅に未達となりました。

また、Zaifが保有する暗号資産の評価実現損益が収益に一定の寄与をしたもの、当該評価実現損益を除いた場合、営業損失は更に拡大する状況にあります。

これらを踏まえ、評価益に依存せず黒字化を実現できる売上体制の早期確立が急務であると認識しており、進行年度につきましては、新たな運営体制のもと、セキュリティ及び利便性の確保を前提にコスト構造の更なる最適化を進めるとともに、ストック収益を含む基盤収益の積み上げを中心とした売上の再構築に注力し、収益体質の抜本的な改善に取り組んでまいります。

3. 2025年11月期連結業績予想値と実績値との差異

(単位：百万円未満切り捨て)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主 に帰属する 当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	3,349	29	50	16	0.44
今回実績 (B)	3,562	△223	△250	△728	△20.05
増減額 (B-A)	212	△252	△300	△744	
増減率 (%)	6.35	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年11月期)	2,130	△246	△230	△289	△9.07

4. 差異の理由

売上高につきましては、株式会社ネクス（以下「ネクス」といいます。）等の連結子会社において当初見込んでいた売上高から 824 百万円下回った一方で、2025 年 11 月期において、新たに連結子会社となったネクスデジタルグループ及びその子会社の売上高 1,040 百万円の増加により、結果として当初予算を 212 百万円上回りました。

営業利益につきましては、株式交換によるネクスの連結離脱及び連結子会社における売上高減少に伴う原価減少等があったため、売上原価及び販管費が当初予定より 606 百万円減少しております。しかし、ネクスデジタルグループの連結子会社化に伴う原価、販管費の増加、並びに連結子会社ののれん償却費の計上により、売上原価及び販管費が当初予定より 1,075 百万円増加したことで、営業損失となりました。

経常利益につきましては、ネクスデジタルグループの連結子会社化に伴い、営業外収益として 37 百万円、営業外費用として 83 百万円を計上したことにより、経常損失となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益として、上記 1 の通り、ネクスの連結離脱等による利益が 790 百万円あった一方、特別損失として、上記 2 (2) を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

以上により、2025 年 1 月 17 日に開示しました連結業績予想と実績に差異が生じ、上記の結果、売上高 3,562 百万円、営業損失 223 百万円、経常損失 250 百万円、親会社株主に帰属する当期純損失 728 百万円となりました。

以上